

比治山公園「平和の丘」の取組について（お知らせ）2025年（令和7年）5月

日頃から本市行政に御理解、御協力いただきありがとうございます。

本市では、平成29年3月に策定した「比治山公園『平和の丘』基本計画」に基づき、比治山公園の再整備に取り組んでいます。令和7年度は、令和6年度に第Ⅱ期のアクションプランとして策定した回遊性向上策に基づき、公園内の既存施設等を活用した回遊拠点の魅力向上や、各拠点をつなぐ安全で快適な回遊動線の整備などの基盤整備を進めていきますので、その予定についてお知らせします。

また、比治山公園の再整備の取組について、お聞きになりたいことがありましたら、下記の問合せ先に御連絡ください。

問合せ先：広島市企画総務局政策企画部政策企画課平和の丘担当

電 話 082(504)2945

Eメール seisakukikaku@city.hiroshima.lg.jp

1 既存施設及び未利用地の利活用

御便殿広場において、こどもが水遊びできるようにするための人工の滝の改修や、木陰でゆったりとくつろげる休憩施設の整備などに向けた実施設計を行います。

また、ムーアの広場において、ムーアの彫刻をより印象付けるライトアップ施設や花壇の整備などに向けた実施設計を行います。

このほか、売店の除却等により生じた園路沿いの未利用地への休憩拠点の整備や芸術などのテーマを持たせた遊具の設置に向けた実施設計を行います。



水遊びができる場の整備イメージ
（御便殿広場）



花壇の整備イメージ
（ムーアの広場）



休憩施設の整備イメージ
（未利用地）

2 園内動線の整備

ムーアの広場について、現在は、広場に階段でしかアクセスできないため、車いすやベビーカー利用者も広場を利用することができるよう、スロープの整備に向けた実施設計を行います。

また、公園内を安全で快適に回遊できるよう、エントランス広場付近から遊具広場付近までの園路を一方通行とし新たに歩道を設けるなど、自動車と歩行者を分離するための改修工事等を行います。

さらに、まんが図書館及び現代美術館にそれぞれ併設されているトイレが老朽化していることから、誰もがより使いやすくなるよう、バリアフリー化や洋式化などの改修のための実施設計を行います。



自動車と歩行者の分離のイメージ

【園路の改修工事に伴う一部園路の通行止めのお知らせ】

エントランス広場付近から遊具広場付近までの園路の改修工事に伴い、一部園路の通行止めを予定しています。

工事は、第二駐車場の北側と南側に分けて段階的に行い、第二駐車場には、工事期間中もいずれかの園路でアクセスできるよう検討しています。（通行止めの期間等の詳細は、別途お知らせします。）

なお、工事完了後は、エントランス広場付近から遊具広場付近までの園路は一方通行となります。



（裏面に続く）

(表面から続く)

3 老朽化している桜の樹勢回復等

比治山公園は、古くから桜の名所として多くの人に親しまれていますが、令和5年度及び令和6年度に桜の樹勢診断を行った結果、そのほとんどの桜に損傷や腐朽等の著しい被害が見られ、樹勢衰退が明らかとなりました。今後も比治山公園が桜の名所であり続けるためには、桜の生育環境を改善し、樹勢回復を図るとともに、新たな桜を植樹する必要があります。令和7年度は、桜の現状と課題を整理した上で、桜の再生に向けた方針を検討します。

また、比治山公園は、シイやカシなどの常緑広葉樹が大部分を占め、十分な光が地面に届きにくいいため、園路によっては薄暗くなっています。こうしたことから、引き続き、園路沿いを中心に、防犯対策も含め気持ち良く散策できる明るい樹林環境に転換するための剪定等を行います。



園路沿いの樹林の剪定等（令和6年度）

4 デザイン性の高い案内サインへの改修

比治山公園内に設置されている園内案内板や誘導表示等の案内サインは、作成年度によりデザインが異なり、更には老朽化しているものがあったため、令和4年度から、統一感のある案内サインへの改修を行っています。

令和7年度は、公園内の駐車場の案内サインの設置を行います。



うんげいきょう
雲霓橋下の三差路に設置した
総合案内サイン（令和6年度）

5 にぎわいづくりの推進

比治山公園の集客を図るため、平成30年度から、より多くの人に比治山公園を活用してもらえるような様々なテーマのイベントを開催しており、多くの方々に御参加いただいています。令和7年度も、イベントを開催するとともに、にぎわいづくりの担い手の掘り起こしやネットワークづくりを行います。

6 プレーパークづくりの推進

自然との触れ合いの中で、水遊びや泥遊び、木登りなど、こどもが自由な発想で楽しむことができるよう、比治山トンネル上部の未利用地を活用し、プレーパークづくりを進めています。令和7年度も、令和6年度に引き続き、担い手の掘り起こしや実施体制づくりを進めるとともに、秋以降に月1回程度、試行的に実施します。



プレーパークの施行実施
（令和6年度）

プレーパークのサポーターを募集しています（募集）

地域や市民の皆さんが運営するプレーパークを目指し、令和6年度に公募により登録していただいたサポーターの皆さんと一緒にプレーパークづくりを進めています。引き続き、こどもたちの「やってみたい！」を応援するサポーターを募集していますので、こどもの自由な遊び場づくりに興味をお持ちの方は、表面の問合せ先まで御連絡ください。

7 放射線影響研究所の移転を見据えた取組

令和5年1月に放影研の広島大学霞キャンパスへの移転が決定し、放影研は、令和8年度中の新施設の完成を目指しているとされています。放影研移転後の敷地を活用した第Ⅲ期の整備は、基本計画の総仕上げと位置付けて、平和であることを実感しつつ芸術文化に親しむことができる「平和・芸術文化ゾーン」として、多目的エリアなどを整備する計画としており、放影研移転後に、当該敷地を本市が公園として使用することができるよう、国と協議を行っているところです。

また、具体的な整備内容については、市民や民間事業者等の意見を聴きながら検討を進めていきます。

富士見台展望台に「平和へのメッセージ」を記す碑を設置しました（報告）

原爆の惨禍から復興した市街地の街並みを眺めながら、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるよう、令和5年度のピースメッセージ広場に続き、令和6年度に、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を記す碑を富士見台展望台に12基設置しました。



富士見台展望台に設置した「平和への
メッセージ」を記す碑（令和6年度）